

# 風景街道「熊野古道伊勢路」推進協議会

ニュースレター 第6号

発行:2007年2月

## 第2回地域別会議を開催しました

2月5日(月)に三重県熊野庁舎第9会議室にて、また2月7日(水)に三重県尾鷲庁舎大会議室で、紀南と紀北に分かれて第2回風景街道「熊野古道伊勢路」地域別会議を開催しました。

前回と同様に、紀南と紀北のそれぞれの地域のメンバーが集まり実施計画案について話し合いました。今回のニュースレターでは、各地域別会議の概要についてお伝えします。

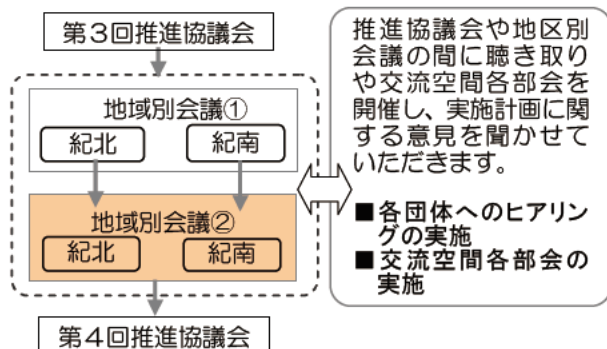


地域別会議の開催状況

## 議事次第

- (1) 癒しともてなしの風景街道「熊野古道伊勢路」実施計画策定について
- (2) 県管理道路の修景について
- (3) その他  
○各団体の取組の紹介等

### 実施計画の策定フロー



## 風景街道実施計画案の骨子をみんなで確認しました

これまでの意見を整理し、各団体への聞き取りなどを実施して、以下の実施計画案を事務局から提案されました。

ルート名称の提案

日本風景街道 伊勢熊野みち

取組テーマ

世界遺産「熊野古道」を巡る  
癒しともてなしのふれあい街道づくり

コンセプト

江戸時代に培われた旅人へのもてなしのみち「熊野古道伊勢路」の復古・再生をシンボルイメージとし、地域と行政の協働により、紀伊半島における自然・歴史・文化的資産を活用した地域づくりを目指す。

活動方針

### ①「みち」から見える風景づくり

山、森、川、海などの豊かな「自然」を満喫できる「ドライブルート」や熊野古道をはじめとする地域の歴史や文化、くらしにふれあえる「ウォーキングルート」など、多彩な「みち」を活用しながら世界遺産地域にふさわしい風景づくりを進めます。

- 花植え・清掃の継続
- 農の景色・林の景色の創出
- 看板の規制
- 道路修景とビュースポット整備
- 古道の保全と町並み景観検討

### ②訪れる人との交流づくり

「自分たちの発意と行動で自分たちの地域を魅力的にする」ことを基本理念とし、「癒しの原風景」や「もてなしの心」を育みながら、地域主体の地域資源を活かした交流づくりを進め、「住みたくなる地域」、「訪れたくなる地域」の創出へつなげていく。

- マップと案内板の充実
- 地域の魅力体験イベントの実施
- 語り部の育成
- 古民家活用の交流拠点整備
- ご当地の味の提供
- 周遊性の検討

### ③広域的なつながりづくり

熊野古道を軸として三重県、和歌山県、奈良県のつながりを具体化していくとともに、全国の日本風景街道のルートと情報交換や地域内外への情報発信を通じ、全国的なつながりに発展させていく。

- 多様な媒体による情報発信
- 紀伊半島3県での交流
- 全国の日本風景街道の仲間との情報交換

## 紀北地区のフリートーク

紀北地区の参加者による意見交換の要旨

### ○ルート名称

- ・インターネットで検索時にヒットされやすい言葉をいれることが重要（伊勢、熊野OK）
- ・いせ道、くまのみちが良い
- ・伊勢は、はずせないのではないか
- ・当ルートには「奥伊勢」も含まれている
- ・地域名として「南三重」が言われている

### ○コンセプト

- ・どの時代の景観をイメージするのかを考える必要。もてなしは江戸時代に培われた
- ・江戸時代に決めつけるのは無理がある
- ・時代を特定する必要ない。懐かしい心が休まる景観を考えたらよい
- ・ちょっとした気づきで、花植えしたりする活動が大事

### ○取組方針

- ・古道の修繕は、現況復旧が原則であり、安全性等からも、地元団体での施工は問題が生じる場合がある
- ・風景街道は景観の良い道だけでなく、地元の活動を全国に発信・PRし、来訪してもらうことも目的としている



紀北地区のフリートークの状況

## 紀南地区のフリートーク

紀南地区の参加者による意見交換の要旨

### ○ルート名称

- ・「伊勢熊野みち」でよい（ただし、地域性のある言葉を方針に盛り込む）
- ・熊野古道と黒潮海道
- ・伊勢が入ると気になる

### ○コンセプト

- ・江戸時代と言い切れるかどうか
- ・もてなしという行為は、江戸時代が一番あったかもしれない
- ・参詣道なら江戸時代からか

### ○活動方針

- ・地域特性：黒潮、紀伊半島、七里御浜、紀州、南三重、伊勢など

### ○取組メニュー

- ・花木として地域種のミカンやハナモモもよい
- ・風景を見えなくしているもの（沿道の木々等）への対応も必要
- ・古道の発掘に関して、予算ややり方のルール、実施してくれる人材の課題がある
- ・案内板にも外国語が必要である
- ・地域の人全てが、語り部のような存在に成れるといい（外国語のできる語り部も必要）
- ・古民家だけでなく廃校の活用も考えられる



紀南地域のフリートークの状況

## 県管理道路の修景について

三重県から東紀州地域の県管理道路における景観に配慮した道路施設整備などについて、説明がありました。

### ○景観に配慮した防護柵マスタープラン案

防護柵の景観的配慮として、防護柵自体が目立たず、周辺景観に融和し、風景の一部として違和感なく存在し得るように形状、色彩の工夫をします

- ・更新取替時、道路新設時などに採用予定

### ○歩道・路肩の修景計画案

経済性に優れ、歩道と路肩で連続性が図れる脱色アスファルト舗装を基本とします

- ・古道との重複区間などで採用予定

### 道路修景の基本案



基本の防護柵：ガードパイプ

基本色：ダークブラウン（こげ茶色）

歩道・路肩：脱色アスファルト舗装

### ○「とるば」について

「とるば」とは、素敵な景色が撮影できる場所と安全円滑に駐車できる駐車場を地域の方々などが投稿し、安全確認後、認定されるもので、インターネットなどで情報提供され、地域の活性化などにつながるものです。

地域の皆さんによる投稿について、お願いがありました。

## 次の推進協議会の開催は

今回は、今年度最後となる第4回の推進協議会を下記のとおり開催します。

日時：平成19年3月6日(火) 19時から

場所：三重県立熊野古道センター 映像ホール  
(尾鷲市大字向井字村島12-4)

### お問い合わせ・連絡先はこちら

\*\*\*\*\*

#### 【事務局】

◎三重県 県土整備部 高速道・道路企画室

(担当：鈴木、堀)

TEL：059-224-2739

FAX：059-224-2310

◎三重県 県土整備部 景観まちづくり室

(担当：川北、福井)

TEL：059-224-2747

FAX：059-224-3161

\*\*\*\*\*